

慶應義塾大学 文学部

国文学専攻

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

国文学専攻では、課程修了時に学生が身につけるべき能力として下記のを定め、学則に従って修了要件を満たし、卒業論文審査に合格した学生についてはこの能力を身につけた者と認め、学士（文学）の学位を与える。

1. 国文学および日本語学を中心に、学芸、習俗など広く日本文化の歴史と現在について専門知識を有し、厳密な研究方法を身につけている。
2. 上記1で身につけた知識・方法の上に立ち、自らの問題意識に基づいてテーマを設定し、独力でデータ・資料を収集し、オリジナルな分析・考察を行って課題を解決し、その成果を論理的・説得的に構成して自分のことばで発表できる。
3. 上記2の集大成として、独力で卒業論文を執筆できる。
4. 国文学・日本語学・日本文化を専門的に学び深く理解することを通して、それらと対照して異文化についても広く深く理解する視野をもつとともに、固定観念や偏見にとらわれず国文学・日本語・日本文化をも相対化してとらえることのできる能力を培っている。
5. 大学で獲得した知識や研究技法を基礎にして生涯、学習を継続する姿勢を保つとともに、それらの知識・技法を社会に出てから直面する多様な問題・課題を解決するために応用できる能力をもち、自立した責任ある社会人として社会に貢献できる。

学修の最終成果である卒業論文（卒業試験）は次の審査項目を満たすものとする。

1. テーマ・問題意識が明確でかつ独自性がある。
2. 先行研究を踏まえている。
3. データ・資料を適切に読解・分析している。
4. 内容が論理的で一貫している。
5. 形式が学術論文として適切である。